

## 首都直下地震に備えた盛土耐震補強工事について

首都直下地震に備えた地震対策として、2012年度より約5年間を重点整備期間とし、新幹線、在来線の高架橋柱耐震補強を始め、レンガアーチや橋脚、盛土等の耐震補強を実施しております。

盛土耐震補強工事では、高さ6m以上の盛土を対象に耐震補強対策を行っており、東京支社管内において全23箇所中10箇所完了しております。

今後も安全安定輸送を図り、2016年度末の完遂に向けて、盛土耐震補強工事を鋭意推進してまいります。

### 1 盛土耐震補強対策の計画概要〔東京支社〕

対象線区：山手線、中央線など9線区(約220km)

対象延長：高さ8m以上の盛土 約6km

高さ6m以上8m未満の盛土 約5km

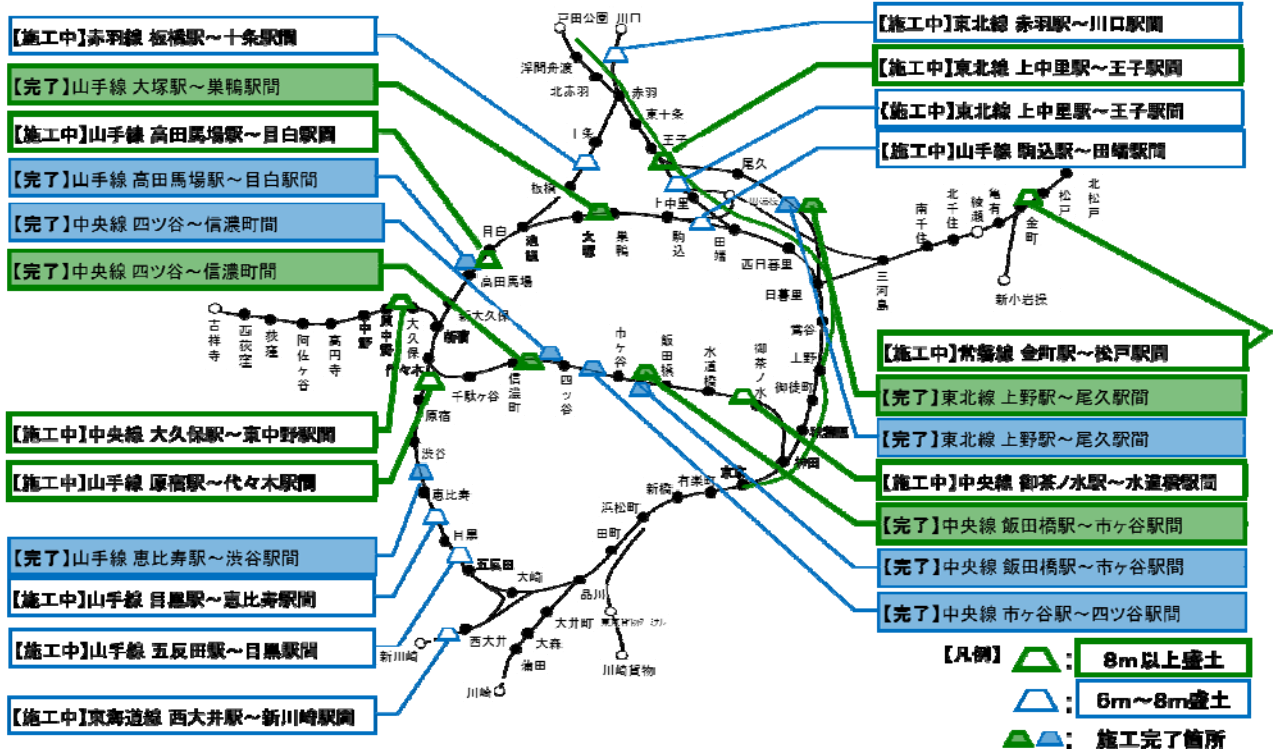
### 2 盛土耐震補強対策の進捗状況〔2016年9月末現在〕

高さ8m以上の盛土 : 10箇所中4箇所完了

高さ6m以上8m未満の盛土 : 13箇所中6箇所完了



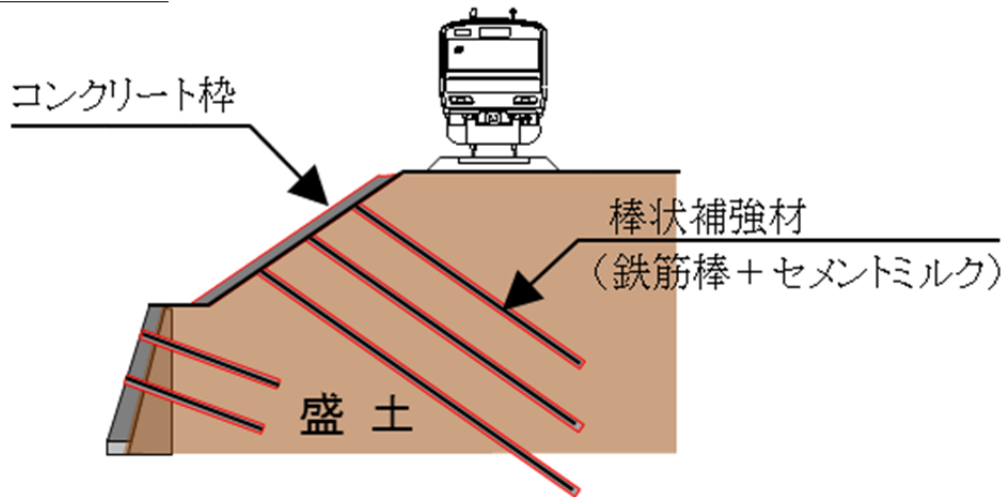
完了写真(高田馬場駅～目白駅間)



盛土耐震補強工事の施工箇所(東京支社管内)

## 首都直下地震に備えた盛土耐震補強工事における標準的な工法について

## 1. 棒状補強材工法

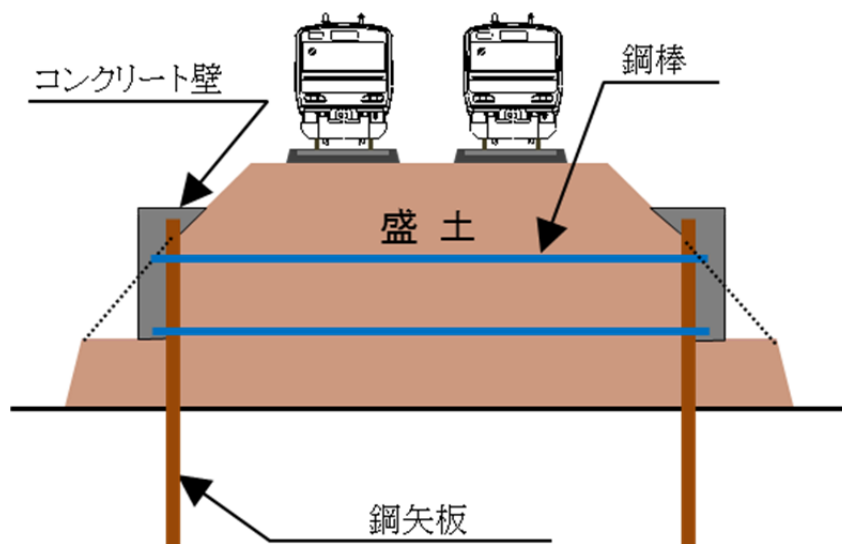


イメージ図

## 【施工方法】

盛土内に棒状補強材(鉄筋棒+セメントミルク)を打込み、盛土表面にコンクリート枠を設置する。

## 2. 鋼矢板締切工法



イメージ図

## 【施工方法】

盛土両側の線路方向に鋼矢板を連続的に設置し、両側を鋼棒で結ぶものである。なお、鋼矢板と鋼棒の接続部は、コンクリート壁を設置する。